

如意寺所蔵の大般若経 — 平安時代後期の混合経の一例について —

間屋 真 一

如意寺の大般若経について、十二世紀前半の常隆寺経・中山寺経などの混合経であると二〇〇七年に開催した展覧会で解説した。奥書による概報であったが、その後、全巻にわたる調査の機会を得た。中山寺で書写された経巻はその一部が鎌倉時代後期までに、常隆寺で書写された経巻は高男寺、萬勝寺を経て室町時代後期から末期にかけて如意寺へ移り、他の平安時代後期の経巻も交え、一具の大般若経として整備された。その際、各巻の欠失部分について補写だけでなく、他の経巻の該当部分の料紙を切り貼りする手法も取られている。

一、はじめに

本稿で紹介する大般若波羅蜜多経（以下、「大般若経」を用いる）が伝来する比金山如意寺（神戸市西区塩谷町谷口、旧播磨国明石郡）は、「縁起」によると、大化元年（六四五）法道仙人が檀（檀）に刻んだ地藏菩薩と毘沙門天を祀ったのが始まりで、正暦年間（九九〇〜九九五）、願西聖人が中興したと伝える市内有数の天台宗の古刹であり、鎌倉時代初期の阿弥陀堂（常行堂）をはじめ、三棟が重要文化財に指定されている。

神戸市立博物館で平成十九年（二〇〇七）に開催した展覧会^{〔註〕}の解

説では、如意寺大般若経^{〔註〕}について、十二世紀前半に常隆寺、中山寺などで書写された経巻を含む混合経であると奥書をもとに概略したが、詳細には言及できていない。そのため、如意寺の御住職、宇代隆信氏から特段のご配慮をいただき、全巻にわたる調査を行った。調査にあたっては、各巻がどの場所^{〔註〕}で書写され、どのように組み合わせられて現在の構成になったのか、如意寺にはどの段階で移動したのか、などの疑問について、奥書だけでなく、客観的に検討できる要素や指標の検出に努めた。料紙幅（料紙規格）の違い、その組み合わせ、書写時期などについて観察し、巻末の「表一」にまとめた。

ただし本経は保存状態が良くなく、料紙の不自然な切り貼りが少なくないため、記載の数値は暫定である。なお、書写時期や筆跡などの観察による判断はあくまでも私見である。

二、概要

如意寺経は六百巻がすべて揃う。江戸時代の補写経を除き、当初は卷子装であったが、江戸時代後期に如意寺がある明石郡樫谷（現加東郡樫谷町）の村々の結縁を得て現状の折本装に修理された。結縁の詳細は【修理銘】を参照されたい。料紙の裏打ちと天地を揃え、同じ規格の表紙と裏表紙を付け、木版で「大般若波羅蜜多経」と巻次を記した題箋を貼る（図1）。

十帖単位で紙製の帙で包み、その帙には木版で「大般若波羅蜜多経」と千字文の一字を印刷した題箋を貼り、五帙まとめて木箱に納める。十二合の木箱はこの改装時の製作と推定される。木箱の飾り付き落とし蓋には、帙題箋に記された千字文の五字と、木箱の通し番号を意味する十二支の文字が記される（図2）。すべて書写経で、版経は断簡を含め用いない。書写時期は、後述するように一卷のうちに異なる時期の書写が混在している場合が少なくない。最も早い書写時期を基準にすると、平安時代後期から鎌倉時代初期が五百五十四巻、そのうち明らかに平安時代後期は四百二十巻、鎌倉

時代が三巻、室町時代が六巻、江戸時代が三十七巻となる。

本文は半葉五行、一行十七字詰を基本にするが、例外も少なくない。界線は墨界だが、一巻のなかでも規格が不統一で、墨界が見られない場合もある。料紙は巻頭に近い箇所ほど水損、それによる破れ、土による汚れなどが目立ち、補写なども少なくない。注意したいのは、第一紙を補写した後に再び水損した例があり、十二〜十三世紀の段階で少なくとも二度の水難に遭遇した経巻が少なくない。これが移動する要因になったとも考えられる。

年号のある奥書は江戸時代を除いて二十八巻にあり、詳細は【奥書・識語等】と【奥書写真】（二部省略）を参照されたい。

三、料紙幅と規格

料紙の縦は江戸時代後期の改装により当初の寸法は不明である。横寸法（紙幅）はこれまでの大般若経調査の通例に倣い、第二紙を計測して調査を開始した。かつて石峯寺（神戸市北区淡河町）の大般若経を調査し、第二紙の紙幅のデータをもとに各巻を五グループに分別することで、五種類の料紙規格の使い分けと執筆僧四人の分担や進行過程について分析することが可能であった。改めて考えると、石峯寺の大般若経は如法経として企画され、料紙も如法作法に従って準備され、計画的に用いられたからこそ、第二紙のみの計測

でも分析が可能であったといえる。しかし、如意寺経の場合、第二紙の紙幅はその巻を全く代表するものではないことが調査の進展とともに明らかになったため、料紙を計測し直し、紙幅の異なる料紙の使い分けと奥書の情報によつて構成の分析が可能かどうか、検討することとした。

如意寺経の各料紙の横寸法は〔表1〕に示した。明らかに一筆の経巻でも紙幅の異なる料紙を併用する例があり、書写当初の時点で複数の規格からなる料紙が用意されていたといえる。平安時代後期から鎌倉時代初期頃の経巻のうち規格が単一なのは三百二十六巻（うち平安時代後期は二百四十九巻）あり、補写を一部含むため単一かどうか判断できないものが別に約三十二巻（同二十七巻）ある。単一の規格の巻は同時代の中で約六十%を占める。近年の大般若経の調査報告、例えば平安時代中期の慈光寺経、鎌倉時代中期の春日若宮一筆経については第二紙だけでなく、すべての紙幅が報告されている。それによると、各巻の料紙の規格が単一なのは、補写を含んで判断できないものや合巻を除外すると、およそ慈光寺経で七十五%、春日若宮経で六十五%である。慈光寺経の報告では、長短が混在して紙幅が一定しないのは、料紙の調達が一時ではなく何度かに分けて、あるいは複数の供給元だった可能性などが指摘されている。如意寺経で単一規格の割合が少し低いのは、料紙の調達や

計画的な使用がより困難であったことによると推察される。大般若経には軽く一万枚を超える料紙が必要であり、同一規格のみで調達書写することは勿論、複数規格の料紙を計画的に調達し、併用するのは地方寺院にとつて相当に困難なことであり、むしろ複数規格の料紙を一具六百巻の中で、また一巻の中でも混在して使用するのが一般的だったと考えられる。

常陸寺経と中山寺経とで料紙の使い方にとの異なる差が認められるのか。如意寺本では中山寺経で奥書のあるものは二例（巻第一二七、第一二八）のため、他の中山寺経を含めて検討する。中山寺経は、田岡香逸氏の調査以来、長治二年（一一〇五）九月十日の一日頓写大般若経として知られ、如意寺本の存在が明らかになるまでは、加東市の上鴨川住吉神社と馬瀬住吉神社に分蔵されているものが唯一の伝世品であった。そのうち、馬瀬経について実見する機会を得た。〔表2〕は平安時代後期の中山寺経と思われる経巻のうち調査できたものの略報である。単一規格は四割程度になるが、馬瀬本の中山寺経でもサンプル数が少ない上に補写、錯簡、合巻などが確認できるため、料紙の使い方について当初の書写場所との関連性や常陸寺経と区別する特徴を見いだすことは困難である。

一方、如意寺経全体、そのうちの常陸寺経（表1）の巻次に網掛のあるもの、中山寺経（馬瀬本・前述の如意寺本二巻）の料紙に関

して、「表1」の平安時代後期の紙幅群①～③を料紙規格と見なし、その中間値の分布について一センチ刻みで表したものが「表3」である。なお、紙幅群の設定では各紙幅を糊代、誤差などを考慮して二センチの差の範囲で同一規格とみなしたものである。

表3 料紙規格の分布

料紙幅(cm)	如意寺 経全体	常隆 寺経	中山 寺経
	該当数		
56.5～57.4	2		
55.5～56.4	26	3	
54.5～55.4	30	2	
53.5～54.4	38	1	4
52.5～53.4	17	4	2
51.5～52.4	15	0	4
50.5～51.4	21	0	4
49.5～50.4	23	0	3
48.5～49.4	59	2	2
47.5～48.4	69	4	2
46.5～47.4	73	0	0
45.5～46.4	49	1	4
44.5～45.4	49	2	1
43.5～44.4	25	0	1
42.5～43.4	7	0	1
41.5～42.4	2	0	0
40.5～41.4	32	3	0
39.5～40.4	8		0
38.5～39.4	10		1
37.5～38.4	8		1
36.5～37.4	1		
	564	22	30

如意寺経全体では約三七～五七センチまで広がり、約四五～四九センチがピークで、次のピーク約五四～五五センチや四一センチ前後に比べ倍ほど多い分布になっている。それに対し、常隆寺経は約四一～五六センチ、中山寺経は約三八～五四センチの分布を示している。ピークで見ると、常隆寺経は四八センチ前後と約五三～五六センチ、中山寺経は四六センチ前後と約五一～五四センチとなる。

サンプル数が少なく断定的なことは言えないが、各経の分布の特徴、すなわち中山寺経では例がない四一センチ前後で如意寺経は低いながら一つのピークを示し、また、中山寺経がピークの約五一～五二センチで如意寺経はピークを示していないのは、如意寺経に占める中山寺経の混合の割合が低く、如意寺経全体に及ぼす影響が少ないことに起因するのだろう。

また、如意寺経のピークである四七センチ前後には常隆寺経、中山寺経ともに該当例がなく、四八センチ前後で常隆寺経は四例、中山寺経は二例である。このことは、如意寺経に常隆寺経、中山寺経とは異なる四七センチ前後の料紙規格の経巻が含まれていることを示している。後述する巻第一五一（料紙規格四六・五センチ）は天承元年（一一三一）に石峯寺僧が執筆したものであり、このような他の平安時代後期の経巻も含み込んでいるといえる。

料紙規格の分析でも一巻ごとに如意寺本の中山寺経、常隆寺経を峻別することは困難であるが、全体としての特徴は以上の通り把握できるだろう。

四、料紙の混合

ところで、長年にわたって大般若経を調査研究されている稻城信子氏はその経験から「混合経を構成しているものが大部分であった。

混合経は、異なる時代の経典が混じり合って六百巻を構成している経をいう。大般若経は通常、各時代の書写経や版経の入りまざった混合経として伝来し、しかも、当初の所蔵者を離れて伝来しているものがほとんどである」と指摘されている⁽¹⁰⁾。如意寺経はまさにその一例であるが、仔細に見ると、欠巻を別の大般若経の同じ巻次で補うだけでなく、欠失した料紙や補修の難しい料紙の部分だけを、別の大般若経の同じ巻次の該当部分を切り取り、縫いで補っていると考えられる箇所が少なくない。欠損の部分を変えて書写するには底本が必要となるが、別の大般若経の遺巻を入手できれば底本は必要ない。しかも遺巻が古いもの、靈驗あるものならば経典の功德が増すとして珍重されたのだろう。このような補修手法について、これまで補写、補巻、補経など一般に経巻の補修を意味する用語と特に区別することなく言い表されてきたと考えるが、特定の用語をあてることが中世の写経事情の実態がより明瞭になるだろう。本稿ではこの方法を仮に補簡と呼ぶ。他の大般若経でもあり得る修復方法であるが、補写との区別が難しく、同時期の書写経による補簡であれば筆者の交代と判断されることが多いだろう。しかし如意寺経では、外形的な特徴から補簡と考えられる例がある。

巻六一は平安時代後期書写の一筆経で、第十七紙では誤字の八字分の料紙を切り取り、他の経巻から切り取った短冊状の紙片を貼

如意寺所蔵の大般若経 — 平安時代後期の混合経の一例について —

る。幅の異なるものと界線が確認できるため、補写ではなく古経を再利用したと考えられる(図3)。巻第四八〇も平安時代後期書写の一筆経で、卷子装の時に表紙から液状のものが浸み込んで起こった欠失が規則的に存在する。欠失の最初が首題部分であり、「大般若波羅蜜多経巻第四」と書かれた別の経巻の紙片を貼り、「八十」は補写する(図4)。これらも古経を利用した補簡の一種といえるだろう。

料紙規格が変わる紙継目で筆跡も変わる、書写時期が変わる、天地の横界線が大きくずれる、紙質・紙色が変わる、糊代の余白が十分でないため紙継の重なりで文字が一部隠れる、などの例が如意寺経では少なくない。何れも補簡の可能性が窺われるが、これらの要素だけでは補簡だと特定できない。巻第一〇一は第九、第十紙と第十二紙から第二十一紙までが当初の書写で平安時代後期、第二紙から第八紙までと第十一紙が鎌倉時代の書写、第一紙は南北朝時代頃の書写と考えられる。第十紙と第十一紙とで「眼」の文字が重複しているため、第十一紙は補簡の可能性も考えられるが、第十一紙と同筆と思われる第八紙の最後の部分は行間を詰めて書写する(図5)。これにより第九紙に継ぐための新たな補写と考えられ、従って第十一紙も補簡ではなく補写といえるだろう。このように補簡と判断には十分な検討が必要であるが、少なくとも次の事例は補簡と

認められる。

巻第一〇八は平安時代後期書写の部分を主体とするが、第四紙から第十二紙までが当初よりやや下降する。第三紙と第四紙の継目、第十二紙と第十三紙の継目でそれぞれ一行が重複し、更に横界線が大きくずれ、補写ではなく補簡と考えられる(図6)。巻第一五九は第五紙以降が当初の平安時代後期、第一紙が江戸時代、第二紙から第四紙までが補簡と考える。第四紙の最終行と第五紙の最初の行の継目で「舌身」の二字が欠ける(図7)。補写ならば当然書かれるはずであり、やはり既成の古経の該当部分を利用したのだろう。巻第三〇一は第三紙からが当初の平安時代後期の書写経、第二紙までは少しその時代は下降する。第二紙と第三紙の継目で「四」の文字が両方の料紙に書かれる。また、第二紙と第三紙では水損等の跡が大きく異なり(図8)、第二紙は補簡と考える。巻第三〇六は第十九紙までが平安時代後期の書写であるが、第三紙までと第四紙以降では書写時期が少し異なる。第三紙(最終行十八字)と第四紙(一行のみ、十八字)の継目で「浄」の文字が両紙で重複する(図9)。新たな書写なら次の文字から書き始めるはずであり、これらの自然な継目での重複する文字や欠字は補簡を見いだす有力な手掛かりといえる。

五、成り立ちと構成

如意寺経を構成する常陸寺経、中山寺経の料紙の特徴は以上のように把握できるが、ではどのようにして如意寺に集積されたのか、最初に書写された寺から検討する。

奥書(巻第三一〇、第三三二、第四七四、第四七五、第四七九、第四八〇)に見える常陸寺は播磨国三木郡(美養郡)と明記されているが、早くに廃寺となったためか、不明である。常陸寺経は天養二年(一一四五)の当初から同郡の高男寺僧の勸進により事業が進められた。常陸寺が廃寺となり、所縁の高男寺に移されたのだろう。巻第二〇一の奥書に常陸寺の文字はないが、文和二年(一一三三)に高男寺院主慶算による常陸寺経の修補事業が行われたことがわかる。

高男寺(三木市志染町高男寺)は明石郡に接する美養郡志染に所在し、付近のため池から、勸進聖の進西が埋納した仁平三年(一一五三)館経筒が出土したことで知られるが、現在は廃寺となり、詳細は不明である。大般若経書写の勸進は高男寺住僧の進寂(巻第四七四、第四七五、第四七九)、聖寂(巻第三一〇、第四八〇)が中心となり、賢光(巻第三二〇、第三三二、第四七四)、女高橋氏(巻第四七五)、松木成重女文屋氏(巻第四八〇)、蓮西(巻第四七九)が結縁、助成する。賢光は執筆も分担(巻第四七五、第四八〇)す

るが、賢光の母は東播磨にひろがる住吉大社領の広大な柳山を管掌し、高男寺に近い縮見屯倉の鉄製品などを船舶用に入手していた可能性のある松木氏の一族、文屋氏（巻第四七四、第四八〇）の出身であり、写経は非母の菩提を弔う目的だった。巻第三二〇に常隆寺、高男寺の寺名はないが、松木氏一族の供養のための写経であり、常隆寺経の一つといえる。

その後、院主慶算による修補事業を引き継いだのは覚舜（巻第一二六、第二四一、第二四三、第二七八、第三三五、第三三六、第三八九）である。来歴は不明だが、慶算による修補の際に外題を書いたのが六十四歳の覚海（巻第二〇一）であり、その法系の人物だろう。覚舜は明徳五年（一一三九）三月十一日に巻第四七の全巻写を始め、応永七年（一四〇〇）七月七日に巻第三三五を補写し終えている。巻第二五七には明徳五年補写の奥書があり、それと同筆で「播州万勝寺常住」の書込みがあるので、遅くとも明徳五年までには加東郡の萬勝寺（小野市万勝寺町）に常隆寺経が移されていたこと、覚舜は萬勝寺の僧とは名乗ってはいないものの、萬勝寺と繋がりのある僧であることがわかる。萬勝寺での整備は、巻第二一〇、第二八一を「満」勝寺の勅進聖安禪房祐善が文明元年（一四六九）に買得しているため、その頃はまた整備が続けられており、如意寺への移動はこれ以降と考えられる。なお、巻第二五七

を右筆としてすべて補写した祐玄は、名前から前述の祐善と師弟の間柄が想定できる。

巻第五八三の釈尊寺は、和泉国大鳥郡和田郷下条（堺市南区和田付近）に所在した寺院であるが、現存せず、詳細は不明である。久寿二年（一一五五）の奥書に「依聖人勸進」とあり、天養二年から十年経過しているが、高男寺の僧が依頼したもので、これも常隆寺経の一つであり、写経事業が継続していたことがわかる。

巻第一五一は天承元年（一一三一）に石峯寺僧の覚秀が執筆している。石峯寺は白雉二年（六五一）法道仙人の開基と伝え、常隆寺や高男寺と同じく美囊郡の古刹であるが、どのような経緯で如意寺経に含まれることになったのか、明らかにしたい。なお、石峯寺には平安時代に遡る史料は現存せず、巻第一五一は石峯寺の名が知られる初見の史料といえる。

一方、如意寺本の中山寺経で書写年代の奥書があるのは前述のとおり巻第一二七、第一二八の二巻であり、巻第一二七の第一紙と第二紙との継目でおよそ二十行の欠落があり、巻第一二八では第十一紙が補写である。中山寺経と思われる経巻の一部には、巻頭に近いところに水損などの被害や泥の汚れが見られる。成立から間もなく災害に遇ったと想定され、後述する治承五年（一一八二）中山寺東室での校合は水損対応のためではないかと推測される。

中山寺経に関する社町、加東市教育委員会の調査と考察^(三)によると、馬瀬経は卷子装で百四十八卷、上鴨川経は折本装で三百九十九巻が架蔵され、書写経が併せて三百八十七巻、春日版経が百六十巻（うち馬瀬経二巻）である。長治二年（一一〇五）に中山寺で書写され、治承五年には中山寺東室で校合された。建長五年（一二五三）書写の巻第二五〇（馬瀬経）に「仲山寺一部之内」とあり、その頃までは中山寺に伝来したとされる。その後、正中二年（一三二五）までに有馬郡槻瀬郷の蓮華寺（三田市下槻瀬）、大山寺（三田市小野、廃寺）に移り、欠巻の補写、校合などの整備が行われ、この時に版経での補填もあったと考えられている。上鴨川住吉神社には天文五年（一五三六）に買得されて施入され、元和九年（一六二二）には馬瀬の住吉神社に巻第二〇一から巻第四〇〇までが分置されることになった。

それでは如意寺本の中山寺経はどの段階で別れたのかといえ、中山寺経が槻瀬郷に移るまでの間に分離し、如意寺に伝来することになったと考える。如意寺本中山寺経には平安時代末期から鎌倉時代前期と思われる補写が少なくないが、鎌倉時代後期の蓮華寺での補写、補修などの痕跡がなく、欠巻の補充に版経を用いず、補写だけでなく補簡の手法をとるなど、馬瀬本、上鴨川本中山寺経とは、大般若経整備に関する考え方の違いが明瞭であると指摘できる。

ところで、「如意寺旧記^(四)」には、文応元年（一二六〇）、樋谷保司衣笠法眼なる人物が如意寺に「祈禱所而興道士ノ筆ノ十六善神、弘法ノ筆ノ三尊大不動并大般若経六百内相歸三流當山ニ寄附」したと記されている。衣笠とは後に三木の別所氏の一族として活躍する衣笠氏のことだろう。十三世紀後半の段階で衣笠法眼という人物が存在して保司という立場で樋谷を管掌していたとは考えられないが、その頃に大般若経の施入があったことまでは否定できない。「如意寺旧記」は近世に何らかの史料をもとに編年でまとめたもので、衣笠氏との繋がりを強調する点は後世の付会だろうが、この頃に入手したと伝えられていたのではないだろうか。六百巻ではなく「六百内」という記載に真実味が感じられる。前述したとおり、中山寺経の槻瀬郷への移動が建長五年から正中二年の間であることも符合する。巻第一六〇、第四七七の二巻に見える「如意寺」の書き込み（図2）は、私の浅見かも知れないが、その頃に加筆と考えられ、中山寺経の一部が如意寺に移動したのは鎌倉時代後期と言える。

このように考えると、中山寺経と常陸寺経との混合の時期は、萬勝寺での存在が確かな文明元年以降で、混合の場所は如意寺と考えるのが妥当だろう。その時期の下限は、如意寺での大般若経の存在が推測できる大明石の岩屋社拝殿での雨乞い行事があった天正三年（一五七五）と考えられる。ただしこの行事の参加をめぐって明石

郡伊川谷の太山寺（神戸市西区伊川谷町前開）との間で札機（たぶら）がおこり、如意寺の大般若経が転読されることはなかった。

六、おわりに

当初の目的であった各巻の峻別は、六百巻の分量に格闘するばかりで、有効な方法を見いだすことはできず、構造分析には至らなかったが、その特徴、如意寺に集約されるまでの経緯については見通しを立てることができた。なお、紙幅の検討では、料紙規格の頻度について分析を試みたが、各料紙の幅別の使用頻度の検討には至らなかった。今後の課題としたい。

最後になりましたが、長期にわたる調査を快くお許しいただきました如意寺の御住職、宇代隆信氏に改めて感謝申し上げます。また、博物館の皆様の長年にわたるご協力にお礼申しあげます。

- 一 神戸市教育委員会編集・発行『神戸市文献史料』第二巻（一九七九）
- 二 神戸市立博物館編『神戸の文化財Ⅱ』—神戸市指定文化財を中心に—

三 本稿では便宜上、書写、伝来、現存の寺院名等から如意寺経などと

如意寺所蔵の大般若経 — 平安時代後期の混合経の一例について —

表記するが、その大般若経のうち、例えばかつて常陸寺で書写された一群を指す場合は、通例に倣い如意寺本の常陸寺経と表記する。また装丁が折本装の場合でも巻と表記することがある。

四 改装の修理名から、樋谷の村々で分担されて、天保十四年（一八四三）四月から六月に実施されたことがわかる。寺谷村は六月に巻第一から第五〇まで、樋（初）木村は巻第五一から第六〇まで、池谷村は四月に巻第六一から第八〇まで、長谷村は巻第八一から第一〇〇まで、友清村は六月に巻第一五一から第一八〇までの裏表紙の裏などに結線した村人の名前を記している。また、十帖単位で収める経帙のうち、巻第五一からのものには柄木村、巻第七一からには池谷村の墨書がある。なお、巻第一八一以降も同じ仕様での改装であるが、巻第五七一を除き、結線の墨書はなくなる。巻第五七一は、垂木村（明石郡）の弥三郎が天保十四年三月に結線したものである。樋谷は天保十四年四月から六月であり、三月時点ではまだ樋谷の村々の結線がどこまで広がっているのか、想定できないため、弥三郎は最後に近い巻第五七一にしたのだろう。

欠失巻の書写は改装事業の目処が立ってから行われ、天保十四年五月から嘉永三年（一八五〇）二月までの期間である（詳細は『奥書・識語等（江戸時代）』を参照されたい）。書写を担ったのは村人ではなく、如意寺の塔頭や近辺の寺、樋谷の名家のほか、明石城下の商家、兵庫熊内の有力家であった。ただし、法泉寺（神戸市西区樋谷町柄木堂ノ前、浄土宗）は弘化三年（一八四六）九月に巻第五八一を書写、同年十一月に巻第一〇三の修理に結線している。

五 本稿では触れないが、多くの巻の料紙紙背に種々の押印、花押に似たマークが紙継目以外の箇所にも見られる。また、巻第五四〇では文字の濃淡を組み合わせて意匠を表すなどの遊びも見られる。

六 中村善則、間屋真一「石峯寺如法大般若経について」（神戸市立博物館研究紀要）第一号（一九九四）

七 奈良国立博物館編集・発行『慈光寺所蔵「大般若経（安倍小水麻呂願経）」の調査と研究』科研『平安時代の「大般若波羅蜜多経」遺品

の総合的調査と歴史研究資料としての資源化」成果報告書(二〇一七)、国際仏教学大学院大学編集・発行『根津美術館蔵「春日若宮大般若經および春日厨子」調査報告書』(二〇一八)

八 田岡香逸(上鴨川)住吉神社蔵大般若経について、「史迹と美術」二七一号(史迹美術同公会、一九五七)、「馬瀬」住吉神社蔵大般若経について、同二九〇号(一九五九)。

九 調査にあたっては、加東市教育委員会から格段のご配慮をいただき、種々ご指示を賜りました。記して感謝申しあげます。

一〇 稲城信子『日本中世の経典と勸進』(塚書房、二〇〇五)一三七頁
一一 山本信吉『西予市三瓶町地福寺所蔵の「大般若経」について』『愛媛県歴史文化博物館研究紀要』第一四号(二〇〇九)、土居聡朋『愛媛県西予市宇和町神久寺所蔵の大般若経について』『同研究紀要』第一七号(二〇一七)

一二 坂江涉『賀茂郡の住吉大社領と船木連氏』『加西市史編(へん)委員会だより』第二号、同『賀茂郡内の柚山と船木連氏』『加西市史編(へん)委員会編』『加西市史』第一卷、本編1『加西市発行』(二〇〇八)

一三 建徳元年(一三七〇)七月「某御教書」、同「橋本正督施行状」(久米田寺文書)岸和田市史編(せん)委員会編『岸和田市史』第六卷、史料編1『岸和田市発行』(一九七六)

一四 社町編『社町史』第三卷、史料編1(河村昭一分担解説)(二〇〇一)、同『社町史』第二卷、本編1『社町発行』(二〇〇七)、加東市教育委員会編集・発行『加東市の文化財』展図録(二〇一六)、加東市・多摩美術大学美術館編集・発行『神仏 人 心願の地』展図録(二〇一八)

中山寺経を収載する史料集には、田岡氏の奥書に関する報告(註八)を引用するものが少なくない。田岡氏の調査では、奥書等のある十三卷(巻第二一〇、第二二三、第二二四、第二三〇、第二七〇、第二三九、第四二二、第四二八、第四二九、第四七四、第五一八、第五三〇、第五七〇)の長治二年九月十日経の存在が略報されたが、社町、加東市の調査による右記の文献では傍線付きの巻は収載されてい

ない。また、巻第四七〇、第五二六の奥書は田岡氏の報告にないが、『社町史』に収載されている。

一五 「如意寺旧記」、兵庫県史編集専門委員会編集『兵庫県史』史料編中世4『兵庫県発行』(一九八七)

一六 「岩屋殿雨請記録」(太山寺文書)兵庫県史編集専門委員会編集『兵庫県史』史料編中世2『兵庫県発行』(一九八七)

【奥書・識語等】 ※、○は編者の註、

①は経文の最後の料紙を示す

大般若波羅蜜多經卷第廿五 (音順下、改装時の裁断と文字整理) □□□□

大般若波羅蜜多經卷第四十一

一交了

明徳五甲 三月十七日

大般若波羅蜜多經卷第四十三

応永四丁丑六月七日

覚 ※本文と同筆

大般若波羅蜜多經卷第四十七

一交了

明徳五年 甲戌三月十一日

合書写了

※本文と同筆

大般若波羅蜜多經卷第六十

応永四丁丑六月九日

※①と同筆

大般若波羅蜜多經卷第六十三

応永四丁 丑六月十二日

※①と同筆

大般若波羅蜜多經卷第七十五

応永四丁 丑六月十三日

※①と同筆

大般若波羅蜜多經卷第九十六

応永四年 丁丑六月十八日

大般若波羅蜜多經卷第一百廿五

奏是里女財田氏

※①と同筆

大般若波羅蜜多經卷第一百廿六

応永四丁 丑六月晦日 覚舜

※①と同筆

大般若波羅蜜多經卷第一百廿七

一校了 (異筆)

仲山寺 経一部内

長治二年 乙酉九月十日 辰始之筆取僧 応実

※①と同筆

大般若波羅蜜多經卷第一百廿八

..... (紙継目) 校了 (異筆)

仲山寺大般若経一部

長治二年 乙酉九月十日 辰 始奉書写矣 願主僧賢昭

筆師僧舜意也

※①と同筆

大般若波羅蜜多經卷第一百五十

..... (紙継目) 一交了 (異筆)

天承元年 六月廿三日 石峯寺僧執筆 覚秀

※①と同筆

大般若波羅蜜多經卷第一百六十

一交了 (異筆)

如意寺常住

※①とは異筆

大般若波羅蜜多經卷第二百一

播州

文和二年 癸巳 八月中奉修理高男寺院主

阿闍梨慶尊授小財於六百軸結值遇於

慈尊朝 外題右筆沙門 覚海

六十四歳

※①とは異筆

大般若波羅蜜多經卷第二百一十

..... (紙継目) 校了 (異筆)

(奥書) (動進 頼り消し) ①とは別筆

播州賀東郡満勝寺 聖安福坊祐善

文明元年 十月廿日 買 生年四十四歳也

大般若波羅蜜多經卷第二百一十一

明徳五年 甲戌三月廿日 覚舜

※①と同筆

大般若波羅蜜多經卷第二百一十三

応永四年 丁丑七月十八日 覚舜書之

※①と同筆

如意寺所蔵の大般若経 — 平安時代後期の混合経の一例について —

大般若波羅蜜多經卷第二百五十一

(改行余白、本文とは異筆)
瀧勝寺常住

大般若波羅蜜多經卷第二百八十一

龍朔元年 月廿日於玉花寺玉花殿三藏

法師玄奘奉 詔訳

大般若波羅蜜多經卷第二百三十五

應永七年庚辰七月七日 構了 覺舜

大般若波羅蜜多經卷第二百五十二

瀧勝寺常住

文明元年買

※1と異筆

勸進聖 安禪坊祐壽 ※1とは異筆

大般若波羅蜜多經卷第二百三十六

應永七年庚辰六月二日 覺舜

大般若波羅蜜多經卷第二百五十七

明德伍年四月十一日 右筆助書祐玄

播州万勝寺 常住

大般若波羅蜜多經卷第二百八十六

此手次代ハ藤田伊左衛門と仕候

大般若波羅蜜多經卷第二百八十九

應永二年乙亥閏七月八日 覺舜

大般若波羅蜜多經卷第二百五十八

為法界衆生平等利益 市フミ藤祐

勸進日富

※1と同筆

大般若波羅蜜多經卷第二百十

天養二年 歲次 乙丑三月十三日播万国三木郡常陸寺書

勸進聖人 高男寺住僧暹輝 結縁僧 賢光
為現世安穩後生菩提奉助成耳

※1と同筆

大般若波羅蜜多經卷第二百六十

播州万勝寺常住

※1と同筆

大般若波羅蜜多經卷第二百廿一

為女松木氏尊靈一人同三良輝畫成仏

※1と同筆

大般若波羅蜜多經卷第二百七十八

応永四丁丑七月十八日

覺舜

天養二年 歲次 乙丑七月廿三日三木郡常陸寺書畢

大般若波羅蜜多經卷第四百七十五

※1と同筆

大般若波羅蜜多經卷第二百廿一

.....(紙継目).....

結縁助成僧 賢光

天養二年 歲次 乙丑二月中旬常陸寺書寫畢

勸進聖人 高男寺住僧暹輝 助成衆女高橋氏
為現世安穩後生菩提助成耳 筆師僧賢光

願證菩提耳 仍結縁助成意趣以如斯

※1と同筆

大般若波羅蜜多經卷第四百七十七

如意寺

大般若波羅蜜多經卷第四百七十九

天養二年 歲次 乙丑三月十三日播万国三木郡常陸寺書畢

勅進聖人高男寺住僧蓮輝結縁共僧塞西

為智惠辯才利根利現世安穩後生菩提書耳

大般若波羅蜜多經卷第四百八十

天養二年 歲次 乙丑三月十日播万国三木郡常陸寺

書写已畢 勅進聖人高男寺住僧

聖輝 結縁助衆松木成重女文屋氏

數多所生現世安穩後生菩提故

殊致精誠之誠助成之狀 執筆賢光

大般若波羅蜜多經卷第五百一十七

阿妙 沙弥前書写也

大般若波羅蜜多經卷第五百八十三

一交し

久寿二年正月廿五日 和泉州大鳥郡和田郷下条

釈尊寺住僧嚴尊

依聖人勅進以写般若德 願共諸衆生 往生安国

※一交しと一久寿二は同筆力

【奥書・識語等（江戸時代）】

大般若波羅蜜多經卷第三十六 卷尾題なし

弘化三丙午歲八月八日 山王社 鶴齋

大般若波羅蜜多經卷第九十一

維時弘化四年丁未三月 水野弘孝謹書写之

大般若波羅蜜多經卷第一百二

清岳良淨信士 頓証菩提

心窓妙安信女

弘化三丙午歲霜月下旬於清養山

法泉寺 性齋 書之

大般若波羅蜜多經卷第一百二十一

弘化四未歲正月廿六日写之

大般若波羅蜜多經卷第一百二十四

干時弘化二乙歲

七月晦日 書写之

天台沙門即因因（朱文方印）

大般若波羅蜜多經卷第一百九十一 卷尾題の前

瓶王院

即眞

大般若波羅蜜多經卷第二百四

弘化參丙午 載季庵中旬六日

大般若波羅蜜多經卷第二百二十九

嘉永二歲次己酉 閏四月念四日

大般若波羅蜜多經卷第二百四十五

干時弘化式乙巳年 八月四日

大般若波羅蜜多經卷第二百七拾六

弘化三丙午年霜月中旬 天台沙門 即因因（朱文方印）

書写之

大般若波羅蜜多經卷第二百八十九

比金山如意寺 圓性謹書之

大般若波羅蜜多經卷第二百九十二

維時嘉永三庚午二月 水野弘孝欽書写之

大般若波羅蜜多經卷第三百四

大般若波羅蜜多經卷第三百一十一

大般若波羅蜜多經卷第三百一十一

維時嘉永元年戊申十一月 陽

大般若波羅蜜多經卷第三百一十一

如意寺所藏の大般若經 — 平安時代後期の混合経の一例について —

水野弘孝欽書写之

大般若波羅蜜多經卷第三百二十四

書写主

陽 余見返しに書込
東本町 大屋久兵衛
西本町 紙屋莊兵衛

施主

紙屋莊兵衛

大般若波羅蜜多經卷第三百二十五

書写主

陽 東本町
大屋利兵衛
西本町 紙屋莊兵衛

施主

大般若波羅蜜多經卷第三百二十六

書写主

陽 西本町
紙屋莊兵衛

施主

大般若波羅蜜多經卷第三百二十七

書写主

陽 西本町
紙屋莊兵衛

施主

大般若波羅蜜多經卷第三百二十八

書写主

陽 西本町
紙屋莊兵衛

施主

大般若波羅蜜多經卷第三百二十九

書写主

陽 西本町
紙屋莊兵衛

施主

大般若波羅蜜多經卷第三百三十人

弘化丁未初四 八月上旬 義清

関茅舎

書于朽木醫王

為蓮堂和尚 余裏表紙裏

大般若波羅蜜多經卷第二百七十三

結

天保十四季 癸卯六月 水野弘孝謹書写之

大般若波羅蜜多經卷第二百七十五

天保第十五龍次甲辰年五月

水野弘孝謹書写之

大般若波羅蜜多經卷第四百一十七

嘉永元 戊申年九月吉祥日

版玉院三而

教純写之

大般若波羅蜜多經卷第四百九十一

弘化丁未初四拾菊月下旬拜書

大般若波羅蜜多經卷第五百一十一

兵庫熊内

※小兵衛筆は①のみ

大般若波羅蜜多經卷第五百四十七

弘化第二曆乙巳仲夏之候

水野姓弘孝欽書

大般若波羅蜜多經卷第五百七十四

.....(紙継目).....
于時弘化二乙巳年

八月八日 書写之

如意寺淨泉院

.....(紙継目).....

弘化二乙巳年 八月

清絶書写之

大般若波羅蜜多經卷第五百七十五

天保十有四年 癸卯 冬十有二月吉祥日

水野三二太良弘孝

謹書写之

大般若波羅蜜多經卷第五百八十一

弘化三丙午年菊月下旬於清養山法泉寺謹書之

性善房

為蓮堂和尚佛果僧位

大般若波羅蜜多經卷第五百八十五

維時天保十五祀甲辰九月 水野弘孝欽書

大般若波羅蜜多經卷第五百九十九

弘化四丁未年霜月十一日畢

為權大僧都法印水絶大和尚菩提

如意寺淨泉院内

実静房書之

(朱文方印)

【修 理 銘】(特に記載していない限り、墨書は表紙の裏の部分)

巻次	修理銘	巻次	修理名
1	覺了悟大姉/天保十四癸卯年六月十七日/施主寺谷村/源兵衛	65	寛応淨願信士/円応妙覚信女/安養妙心信女/施主池谷村/吉兵衛
2	覺翁了円居士/悟天保十四癸卯年六月十七日/施主寺谷村/源兵衛	66	覺阿闍信士/無緣法界/施主池谷村 伊左衛門 /同村/忠左衛門
3	先祖代々菩提/天保十四癸卯年六月十七日/施主寺谷村	70	施主池谷村/元三郎
4	秋月惠照信士/天保十四癸卯年六月十七日/施主小神村/伊左衛門	巻71~80	の秩表紙裏 天保十四癸卯/四月 施主/池谷村銘々 施主池谷村/先祖代々/先祖代々/庄右衛門 兵太夫/善兵衛 藤兵衛/定兵衛 太兵衛/久左衛門 長治良/以上(本紙)
5	為 先祖代々/施主寺谷村/角左衛門/磯吉	71	心元寛空信士/先祖代々/施主池谷村/利兵衛/伊三良
6	先祖代々/施主寺谷村 幸左衛門/久兵衛 吟蔵/乙松 吉左衛門	72	親月妙光輝定尼/観光量登輝定門/施主池谷村/市兵衛
8	家内安全/施主寺谷村 磯治郎	74	清雲光信士/清雲妙光信女/施主池谷村 作兵衛
11	為 一翁円西信士/施主寺谷村 九兵衛	75	窓月聖貞信女/春円清光信士/施主池谷村/卯兵衛
12	為 廣仁童子/施主寺谷島 九兵衛	76	先祖代々/施主池谷村/治兵衛
13	覺月静翁信士/施主 寺谷村 市兵衛	77	先祖代々/光月妙惠信女/施主池谷村/重右衛門/九兵衛 円覚義法禪士/観月照順信士/安月妙光信女/施主池谷村/清兵衛
14	家内安全/施主寺谷村 常三郎	80	先祖代々/施主池谷村/弥次兵衛
15	商売繁盛/施主寺谷村 常三良	81	林翠徳翁輝定門/林光妙惠信女/施主長谷村/義三蔵
16	家内安全/施主寺谷村 清右衛門	82	春山新覚信士/先祖代々/先祖代々/施主長谷村/辰五郎/六兵衛/政次良
18	先祖代々/免光淨塵信士/寺谷村 吟兵衛 伊左衛門	85	先祖代々/施主長谷村/弥三郎
19	家内安全/施主 寺谷村 長治郎	86	先祖代々/施主長谷村/与左衛門
20	為 先祖代々/施主寺谷村 清兵衛	87	円峯妙相信女/台岳常円信士/施主長谷村/弥平次
21	為 春林清光信士/施主寺谷村 久右衛門	88	先祖代々/施主長谷村/徳右衛門
22	五露堂女/六観譽翁/施主 寺谷村 /久蔵 同主計 /養母 天保十四癸卯年六月十七日 観山善堂信士/施主寺谷村/力三郎	89	先祖代々/施主長谷村/作兵衛
23	円峯松齋源利一居士/定部半句信女/菴月淨見信士/寺谷村 /主計兼 同/義右衛門	90	心岸了源信士/施主長谷村 久右衛門/五巻之内
24	誦山友観信士/珍山淨体信女/施主 寺谷村/作治平	92	秋山了海信士/施主長谷村/久右衛門/五巻之内
25	一心徳入信士/施主寺谷村/宇兵衛	93	春光妙円輝定尼/施主長谷村/久右衛門/五巻之内
26	先祖代々/施主寺谷村/宇兵衛	94	春山宗悦信士/施主長谷村/久右衛門/五巻之内
27	家内安全所願成就/施主寺谷村/庄兵衛	95	如法妙性信女/施主長谷村/久右衛門/五巻之内
29	家内安全/施主寺谷村/兵五郎	96	先祖代々/施主長谷村/宗左衛門
30	先祖代々/施主寺谷村/仙治良	97	先祖代々/施主長谷村/定右衛門
31	為 先祖代々/施主寺谷村 治兵衛	98	寂月淨光信士/寂岸教覚信士/龔/施主長谷邑 彌治兵衛
32	為 先祖代々/施主寺谷村/治兵衛	99	先祖代々/施主長谷村/治兵衛
33	為 先祖代々/施主寺谷村/儀兵衛	100	施主長谷村/善右衛門/伊右衛門/善三良/フサ/清右衛門/八良兵衛/義右衛門
34	為 春岸妙善信女/了凉月通性信士/薫/施主寺谷村/長兵衛	151	天応了月信女/施主友清村/徳左衛門
35	為 義山東運信士/秋月道光信士/施主寺谷邑/安右衛門	152	天保十四年癸卯年六月/施主友清村/徳左衛門/家内安全
37	為 宝華池生信士/先祖代々/施主寺谷村/与一左衛門/同/作左衛門	153	家内安全/施主友清村/鏡兵衛
38	為 性円光徳信士/施主寺谷村/徳左衛門	154	家内安全/施主友清村/茂三郎
39	為 先祖代々/施主寺谷村/忠兵衛	155	如達自照信士/施主友清村/太三郎
40	為 深山善廣信士/施主寺谷島 忠兵衛	156	先祖代々/施主友清村/作兵衛
41	為 法山量源信士/施主寺谷村/藤左衛門	157	先祖代々/施主友清村/宗五良
42	為 法岸妙量信女/施主寺谷村/藤左衛門	158	家内安全/施主友清村/宗五良
43	忠良延命/施主寺谷村 忠兵衛内/末吉	159	家内安全/施主友清村/宗五良
44	為 先祖代々/施主寺谷村/藤左衛門	161	天保十四癸卯年六月/施主友清村/藤右衛門/台家理観信士/台家理覚信女
45	為 一翁元東居士/先祖代々/施主寺谷村/庄太夫	162	先祖代々/施主友清村/藤兵衛
46	為 一翁清桃大姉/施主寺谷村/庄太夫	163	先祖代々/施主友清村/藤右衛門
47	為 春山良慶信士/施主寺谷村/庄太夫	164	家内安全/施主友清村/藤右衛門
48	為 徳応通順信士/先祖代々/施主寺谷村/栄助/善兵衛	165	國家安全/施主友清村/善右衛門
49	為 定性童子/施主寺谷村/伊兵衛	166	家内安全/家内安全/施主友清村/与左衛門/同/安太郎
巻51~60	の秩表紙裏 朽木村銘々	167	家内安全/施主友清村/善兵衛
51	商売昌栄 施主/朽木村/治兵衛	168	先祖代々/施主友清村/岩二良 先祖代々/同/源右衛門
52	商売繁栄 施主/朽木村/与兵衛	169	大法理覚信士/施主友清村/源兵衛
53	家内安全/施主/朽木村/勝三郎/忠兵衛/市太郎/茂右衛門/直次郎/仁兵衛/政次良	170	先祖代々/施主友清村/与左衛門
54	法性常惠信士/勝寛妙空信女/施主 朽木村/林兵衛/芳兵衛	171	覺蓮定願信士/施主友清村/善右衛門
55	先祖代々/施主 朽木村/長兵衛	172	先祖代々/施主友清村/善右衛門
56	先祖代々/先祖代々/施主 朽木村/弥次兵衛/茂兵衛	173	先祖代々/施主友清村/宗兵衛
57	先祖代々/施主 朽木村/弥兵衛/猶右衛門	174	先祖代々/施主友清村/宗兵衛
58	昌山淨栄信士/清雲妙智信女/施主朽木村/久兵衛	175	先祖代々/施主友清村/善治良
59	其ノ如妙理信女/寛月道融信士/月峯妙融信女/丹室妙仙信女/施主朽木村 源右衛門	176	先祖代々/施主友清村/義兵衛
60	白願清徳信士/鏡岳妙照信女/施主朽木村/猶右衛門/平右衛門/荘兵衛/勝三郎	177	家内安全/家内安全/施主友清村/猶治良/同/作兵衛
61	信心空同所願成就/施主池谷村/山本氏源兵衛	178	家内安全/施主友清村/善治良
62	宝寿庵啓居士/宝月寿貞信女/先祖代々/施主池谷村 小池宗兵衛	179	先祖代々/施主友清村/幸左衛門/常三郎/義三良/栄蔵
63	宝寿淨翁信士/観光定成信女/施主池谷村/忠三郎/同村吉兵衛志/王子四良兵衛	180	先祖代々/施主友清村/佐右衛門
64	先祖代々/施主池谷村/与治右衛門/清治郎	181	先祖代々/施主友清村/鏡兵衛
		570	天保十四年卯/三月/施主/墨水村/弥三郎



【図2】 巻第1～50の5帙（50帖）を収納する木箱（飾り付き落とし蓋）



【図1】 巻第477 表紙 第16紙 奥書 巻第160



▲ 第13紙

【図6】 巻第108

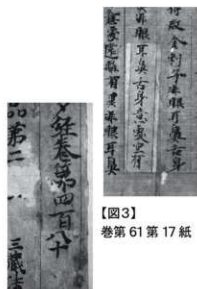


▲ 第3紙

【図5】 巻第101



▲ 第9紙



【図3】 巻第61 第17紙

【図4】 巻第480 首題



▲ 第3紙

【図9】 巻第306



▲ 第3紙

【図8】 巻第301



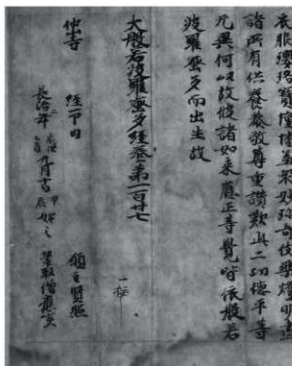
▲ 第5紙

【図7】 巻第159

(▲は紙継目を示す)



卷第 128



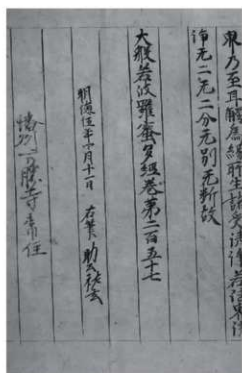
卷第 127



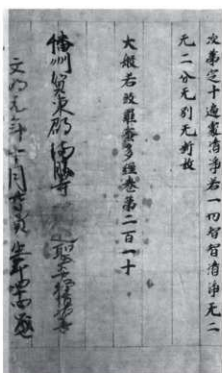
卷第 201



卷第 151



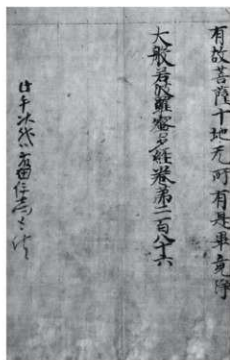
卷第 257



卷第 210



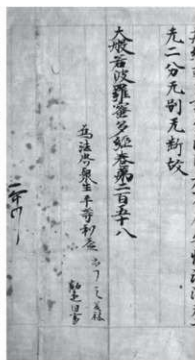
卷第 125



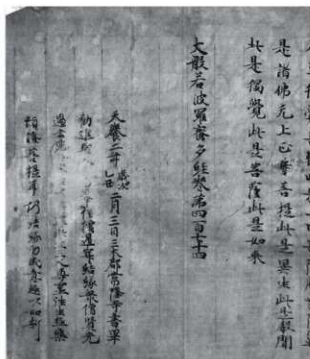
卷第 286



卷第 281



卷第 258



卷第 474



卷第 310



卷第 517



卷第 332



卷第 320

少等无童世界一切有情開我名若安得乙
 上心等菩提跋成是年應覺般若波羅蜜多
 舍利子諸菩薩摩訶薩共等无量无边殊勝
 功德應覺般若波羅蜜多

大般若波羅蜜多經卷第四百十九

大般若波羅蜜多經卷第四百十九
 初迦受文
 大般若波羅蜜多經卷第四百十九
 舍利子諸菩薩摩訶薩共等无量无边殊勝
 功德應覺般若波羅蜜多

卷第 479

何以一切善成就有情令具足既受經去无
 和應證得三乘證般脫念自他究竟士樂一
 一應證得者耶地

大般若波羅蜜多經卷第四百七十五

大般若波羅蜜多經卷第四百七十五
 舍利子諸菩薩摩訶薩共等无量无边殊勝
 功德應覺般若波羅蜜多

卷第 475

禿髮并除世間天龍藥叉健達摩阿素洛
 路荼聖徐洛莫呼洛伽人非人芽一切大聚
 聞佛所說甘大歡喜信受奉行

大般若波羅蜜多經卷第四百十三

大般若波羅蜜多經卷第四百十三
 舍利子諸菩薩摩訶薩共等无量无边殊勝
 功德應覺般若波羅蜜多

卷第 583

乎此舍利子諸菩薩摩訶薩行般若波羅
 蜜多與如是法相應故當言共般若波羅蜜
 多相應

大般若波羅蜜多經卷第四百八十

大般若波羅蜜多經卷第四百八十
 舍利子諸菩薩摩訶薩共等无量无边殊勝
 功德應覺般若波羅蜜多

卷第 480

番号	標本番号	採行年度	採集地	標本形式	植物名	科名	果実	備考
20	1-1-10M	510-513-10	49310-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
21	1-1-10M	456-457-10	49741-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
22	1-1-10M	458-461	49741-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
23	1-1-10M	461-2-10	440-445-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
24	1-1-10M	441-406	440-445-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
25	1-1-10M	442-443-10	440-445-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
26	1-1-10M	442-443-10	440-445-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
27	1-1-10M	454-461	440-445-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
28	1-1-10M	450-463	440-445-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
29	1-1-10M	530-202-10	475-482-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
30	1-1-10M	515-202	475-482-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
31	1-1-10M	417-403-10	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
32	1-1-10M	460-465	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
33	1-1-10M	444-450	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
34	1-1-10M	444-450	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
35	1-1-10M	413-462	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
36	1-1-10M	443-462	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
37	1-1-10M	443-462	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
38	1-1-10M	423-444	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
39	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
40	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
41	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
42	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
43	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
44	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
45	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
46	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
47	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
48	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
49	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉
50	1-1-10M	413-442	440-454-10	標本(1枚)	7109-10	7109-10	果実	花とは同葉

標本番号	採集地	標高(標尺)	植物群	植物群	標尺(目)	寄附	採日	状態	備記事項
80	1-2-14	413							
81	1-2-14 2-2-14	542-545-510							
82	1-1-14 5	481-500-42-57							
83	1-1-14	488-500							
84	1-2-14	485-492-510							
85	1-1-14	488-506							
86	1-2-14	481-503-510							
87	1-1-14	487-500							
88	1-1-14	486-498							
89	1-1-14	491-492-510							
90	1-2-14	504-510							
91	1-2-14								
92	1-2-14	441-453-510							
93	1-1-14	442-451-510							
94	1-1-14	441-453-510							
95	1-1-14	315-315-510							
96	1-2-14	400-423-510							
97	2-1-14	400-423-510							
98	1-2-14	444-463-510							
99	1-1-14	485-492-510							
100	1-1-14	501-501-510							
101	1-1-14	472-471-510							
102	1-1-14	472-475-510							
103	1-1-14								
104	2-2-14	475-475-510							
105	1-2-14	472-472-510							
106	2-1-14								
107	1-1-14	485-483-510							
108	1-1-14	385-52							

号数	所在館名	品目	数量	名称	用途	形状(寸)	重量	材質	年代	保存	特徴事項
142	1-10H	470-480				143.2x42.8x3.7	44.5	銅	17-18世紀	修理	
143	1-10H	482-481				47.7x29.4x3.1	42.2	銅	17-18世紀		
144	1-10H	472-480(2)-480(1)	44.5			146.1x29.4x3.4	45.5	銅	17-18世紀		
145	1-10H	473-482	49.0			145.2x42.8x3.4	49.5	銅	17-18世紀		
146	1-10H	472-474	44.8			145.2x42.8x3.4	44.8	銅	17-18世紀		
147	1-10H	473-475	49.0			145.2x42.8x3.4	49.0	銅	17-18世紀		
148	1-10H	460-472	70.8			146.1x29.4x3.4	70.8	銅	17-18世紀		
149	1-10H	474-482				146.1x29.4x3.4	48.0	銅	17-18世紀		
150	1-10H	472-479				146.1x29.4x3.4	47.9	銅	17-18世紀		
151	天栄 30H	463-465				146.1x29.4x3.4	46.5	銅	17-18世紀		
152	1-10H	463-462				146.1x29.4x3.4	46.2	銅	17-18世紀		
153	1-10H	445-462	57			146.1x29.4x3.4	44.5	銅	17-18世紀		
154	1-10H	461-465	30			146.1x29.4x3.4	46.1	銅	17-18世紀		
155	1-10H	460-465				146.1x29.4x3.4	46.0	銅	17-18世紀		
156	1-10H	463-462	80			146.1x29.4x3.4	46.3	銅	17-18世紀		
157	1-10H	441-443	30			146.1x29.4x3.4	44.1	銅	17-18世紀		
158	1-10H	444-451				146.1x29.4x3.4	44.4	銅	17-18世紀		
159	1-10H	431-444	30			146.1x29.4x3.4	43.1	銅	17-18世紀		
160	1-10H	444-451	45			146.1x29.4x3.4	44.4	銅	17-18世紀		
161	1-10H	475-482				146.1x29.4x3.4	47.5	銅	17-18世紀		
162	1-10H	460-463				146.1x29.4x3.4	46.0	銅	17-18世紀		
163	1-10H	463-464	30			146.1x29.4x3.4	46.3	銅	17-18世紀		
164	1-10H	463				146.1x29.4x3.4	46.3	銅	17-18世紀		
165	1-10H	474-482				146.1x29.4x3.4	47.4	銅	17-18世紀		
166	1-10H	471-482				146.1x29.4x3.4	47.1	銅	17-18世紀		
167	1-10H	474-482	50			146.1x29.4x3.4	47.4	銅	17-18世紀		
168	1-10H	475-482				146.1x29.4x3.4	47.5	銅	17-18世紀		
169	1-10H	464-483				146.1x29.4x3.4	46.4	銅	17-18世紀		
170	1-10H	474-482				146.1x29.4x3.4	47.4	銅	17-18世紀		
171	1-10H	303-305	5			146.1x29.4x3.4	30.3	銅	17-18世紀		

番号	年代	所在地	品名	材質	寸法	備考	現行	収蔵	保管庫	特記事項
201	10-504	神戸市	銀貨(1)	銀	40.4×41.6×2.0					
202	10-514	神戸市	銀貨(1)	銀	40.5×41.0×2.0					
203	10-524	神戸市	銀貨(1)	銀	40.6×41.4×2.0	71.2.29.22.7.8				表裏に「乙」の捺印あり
204	10-534	神戸市	銀貨(1)	銀	40.8×41.5×2.0					
205	10-544	神戸市	銀貨(1)	銀	40.5×41.9×2.0					
206	10-554	神戸市	銀貨(1)	銀	41.0×41.8×2.0					
207	10-564	神戸市	銀貨(1)	銀	41.0×41.8×2.0					
208	10-574	神戸市	銀貨(1)	銀	41.0×41.8×2.0					
209	10-584	神戸市	銀貨(1)	銀	41.0×41.8×2.0					
210	10-594	神戸市	銀貨(1)	銀	40.3×41.4					
211	10-604	神戸市	銀貨(1)	銀	40.3×41.4					
212	10-614	神戸市	銀貨(1)	銀	41.0×41.6×2.0					
213	10-624	神戸市	銀貨(1)	銀	40.8×41.6					
214	10-634	神戸市	銀貨(1)	銀	41.0×41.7×2.0					
215	10-644	神戸市	銀貨(1)	銀	41.1×41.6					
216	10-654	神戸市	銀貨(1)	銀	41.0×41.5					
217	10-664	神戸市	銀貨(1)	銀	40.5×41.7					
218	10-674	神戸市	銀貨(1)	銀	40.3×41.5					
219	10-684	神戸市	銀貨(1)	銀	39.8×41.2×2.0					
220	10-694	神戸市	銀貨(1)	銀	40.5×41.5×2.0	70.2.29.19.19.19.19				
221	10-704	神戸市	銀貨(1)	銀	52.0×2.0×2.0	55.0.24				
222	10-714	神戸市	銀貨(1)	銀	51.8×2.0×2.0	74.6.19				
223	10-724	神戸市	銀貨(1)	銀	49.2×41.8					
224	10-734	神戸市	銀貨(1)	銀	45.1×41.5					
225	10-744	神戸市	銀貨(1)	銀	51.5×42.0					
226	10-754	神戸市	銀貨(1)	銀	38.0×38.5×2.0	41.0.7				
227	10-764	神戸市	銀貨(1)	銀	50.8×39.0×2.0					
228	10-774	神戸市	銀貨(1)	銀	50.8×39.2×2.0					
229	10-784	神戸市	銀貨(1)	銀	49.0×41.5					
230	10-794	神戸市	銀貨(1)	銀	45.5×40.2×2.0					
231	10-804	神戸市	銀貨(1)	銀	45.8×40.2×2.0					
232	10-814	神戸市	銀貨(1)	銀	45.8×40.2×2.0					

書名	刊行年度	紙幅(頁)	紙幅(部)	紙幅(冊)	紙幅(冊)	巻数	巻目	収録	特記事項
232	1-232 1-232	461-470(2)-9				4/337	7巻-7巻(2)-9巻-9巻(4)101-101巻(2)972		
234	1-234 9-234	461-470(2)-9				1/422	7巻-7巻(2)544/105巻(3)877/248巻(8)211(1)8巻(5)10-5(46)38(1)巻(10)5(9)41		
235	1-235 1-235	470-477				2/420			
236	1-236 3-236	463-470(4)-10				1/442	7巻-7巻(2)324/105巻(3)877/248巻(8)211(1)8巻(5)10-5(46)38(1)巻(10)5(9)41		
238	1-238 2-238	463(3)				2/415	1/442		
240	1-240 2-240	463-477(2)-9				1/317	7巻-7巻(2)324/105巻(3)877/248巻(8)211(1)8巻(5)10-5(46)38(1)巻(10)5(9)41		
242	1-242 5-242	463-466(6)-9				1/154	2/420		
244	2-244 2-244	464-465(2)-9				1/317	7巻-7巻(2)324/105巻(3)877/248巻(8)211(1)8巻(5)10-5(46)38(1)巻(10)5(9)41		
246	1-246 7-246	472-475(5)-9				1/113	2/420		
248	1-248 2-248	475-480(2)-9				1/171	7巻-7巻(2)324/105巻(3)877/248巻(8)211(1)8巻(5)10-5(46)38(1)巻(10)5(9)41		
249	1-249 1-249	485-472				1/130	2/420		
250	1-250 1-250	375-385				1/130	2/420		
251	1-251 1-251	464-465				1/130	2/420		
252	1-252 1-252	464-464				1/130	2/420		
254	1-254 4-254	464(2)-468				1/130	2/420		
256	1-256 1-256	464(5)-474				1/130	2/420		
257	1-257 1-257	541-544(2)-9				1/130	2/420		
259	1-259 2-259	383-392(2)-9				1/130	2/420		
260	1-260 1-260	462-468				1/130	2/420		
262	1-262 1-262	545-55(6)				1/130	2/420		
263	1-263 1-263	453-46(2)-9				1/130	2/420		
264	1-264 1-264	551-552				1/130	2/420		

書名	著者	刊行年度	紙張形式	収録形式	収録位置	種別	備註
204	○	1-104H	478-487	134.452-478.452	134.452	134	
205	○	1-104H	948-955	131.5250.055.055	131.5250.055.055	131.5250.055	
206	○	1-104H	955-960	131.5250.055.055	131.5250.055.055	131.5250.055	
207	○	1-104H	955-958	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
208	○	1-104H	952-957	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
209	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
210	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
211	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
212	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
213	○	1-104H	952-959	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
214	○	1-104H	952-959	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
215	○	1-104H	952-959	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
216	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
217	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
218	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
219	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
220	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
221	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
222	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
223	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
224	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	
225	○	1-104H	460-467	134.0253.055.055	134.0253.055.055	134.0253.055	

書名・書種	所在機関	紙巻数(冊)	紙巻形式	紙巻部割	紙巻(冊数)	巻数・種別	収録	収録頁	特記事項
296	1-9H	444-403							
297	1-9HK 1-9HKK	519-512-2-9 444-2-412-2-9							
298	1-9HKK	444-2-412-2-9 519-512-9							
299	1-9-3H 1-9H	544-642-3H 312-3H-2-2-9							
300	1-9H	444-6-74-9							
301	1-9H	444-6-74-9							
302	1-9H	444-40-0							
303	1-9H	549-50-8							
304	1-9H	443-40-5							
305	1-9-3H 1-9H	494-50-85-9 312-2							
306	1-9-3H 1-9H	494-50-85-9 312-2							
307	1-9-3H 1-9H	312-2 417-40-6-9							
308	1-9-3H 1-9H	312-2 417-40-6-9							
309	1-9-3H 1-9H	444-1-3812-2-9 440-44-85-9							
310	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
311	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
312	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
313	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
314	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
315	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
316	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
317	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
318	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
319	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
320	1-9-3H 1-9H	521-53-2-2-9 440-44-85-9							
321	1-9H	444-40-5							
322	1-9H	444-40-5							
323	1-9H	444-40-5							
324	1-9H	444-40-5							
325	1-9H	444-40-5							
326	1-9H	444-40-5							
327	1-9H	444-40-5							
328	1-9H	444-40-5							
329	1-9H	444-40-5							
330	1-9H	444-40-5							
331	1-9H	444-40-5							

書名	時代	編者	出版	頁数	紙張	印刷	備考	特記事項
322	1-1-194	554-562-20	42-443-19-1					
323	1-1-194	553-557						
324	1-1-194	555-557						
325	1-1-194	403-415-2-10						
326	1-1-194	483-2	443-448-19-1					
327	1-1-194	553-557						
328	1-1-194	398-418						
341	1-1-194	467-472-10						
342	1-1-194	472-10-10	49-50-2-10					
343	1-1-194	468-480						
344	1-1-194	473-475-10						
345	1-1-194	375-385-10-10						
346	1-1-194	462-470-10	463-2					
347	1-1-194	460-467						
348	1-1-194	463-470-10						
349	1-1-194	464-480-10	423					
350	1-1-194	422	403-474-10					
351	1-1-194	468-480						
352	1-1-194	481-500-10-10						
353	1-1-194	484-500						
354	1-1-194	2-353-8-315	484-10					
355	1-1-194	501-502-10	484-485-10					
356	1-1-194	480-482-10	474-480-10					
357	1-1-194	484-486-10	472-473-10					
358	1-1-194	490-501-10	483-488-10					
359	1-1-194	484-485						
360	1-1-194	540-543						
361	1-1-194	540-547						
362	1-1-194	545-550						
363	1-1-194	540-548						

展示番号	展示位置	展覧期間	展覧形態	展覧時間	観覧(1日)	希望 値	収 入	収 入 率	備 考
400	1F-109K	H26.5.4.22-26	常設展示	10:00-17:00	1342名	544.00	4000円	12.1%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
401	1F-109K	4.5.4-6.7.7	常設展示	4.5.18	182	170.00	4000円	4.3%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
402	1F-109K	3.6.5-10.23.3	常設展示	4.5.18	423名	238.00	4000円	6.0%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
403	1F-109K	3.7.5-10.25	常設展示	4.2-4.4	446名	244.00	4000円	6.1%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
404	1F-109K	4.6.4-11.5	常設展示	H26.10.31	H26.11.8	1512名	4000円	36.3%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
405	1F-109K	4.6.4-11.5	常設展示	4.5.18	1363名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
406	1F-109K	4.22-4.9	常設展示	H26.2.13	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
407	1F-109K	H26.4.6-2.25	常設展示	H26.2.13	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
408	1F-109K	H26.6.4-3.30	常設展示	H26.11.8	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
409	1F-109K	4.3.3-4.6	常設展示	4.5.18	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
410	1F-109K	4.5.4-1.0	常設展示	4.5.18	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
411	1F-109K	5.23-5.2	常設展示	4.5.18	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
412	1F-109K	4.5.4-1.3	常設展示	4.5.18	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
413	1F-109K	4.5.4-1.3	常設展示	4.5.18	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
414	1F-109K	4.5.1-4.6-2-4	常設展示	4.7-4.15	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
415	1F-109K	4.7.5-4.15	常設展示	4.7.5-4.15	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
416	1F-109K	3.5.2-5.6-4.2-7	常設展示	3.5.2	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
417	請求 係	5.13-5.27	常設展示	5.13	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
418	1F-109K	5.13-5.27	常設展示	5.13	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
419	1F-109K	5.27-5.12	常設展示	5.13	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
420	1F-109K	5.27-5.12	常設展示	5.13	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
421	1F-109K	H26.5.4-2.2	常設展示	H26.5.17	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
422	1F-109K	H26.1.5-5.2-10	常設展示	H26.1.13	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
423	1F-109K	H26.5.5-4	常設展示	H26.5.17	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
424	1F-109K	H26.5.5-1	常設展示	H26.5.17	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
425	1F-109K	H26.1.5-15	常設展示	H26.5.17	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
426	1F-109K	H26.8-5.1	常設展示	H26.5.17	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
427	1F-109K	H26.10-5.4	常設展示	H26.5.17	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
428	1F-109K	H26.10-5.4-2-7	常設展示	H26.5.17	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
429	1F-109K	H26.10-5.4-3	常設展示	H26.5.17	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
430	1F-109K	H26.2.5-2.25	常設展示	H26.5.17	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
431	1F-109K	4.7.12-2.5	常設展示	4.1-4.15	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
432	1F-109K	4.7.12-2.5	常設展示	4.2.13	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
433	1F-109K	4.7.12-2.5	常設展示	4.2.13	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと
434	1F-109K	4.27-4.18	常設展示	4.27-4.18	1343名	744.00	4000円	18.6%	文化で賑わす 北の国はわがふるさと

番号	品名	規格	数量	単位	備考
404	1-1)HK	HKS-5-54			
410	1-1)HK	HKS-4-50(2)-5 7-5			
411	1-1)HK	464-474			
412	1-1)HK	555-50-62-5			
413	1-1)HK	555-50-62			
414	1-1)HK	555-96-2			
415	1-1)HK	464-48-42-2-5			
416	1-1)HK	464-48-13-5			
417	1-1)HK	HKS-4-54-2-5			
418	1-1)HK	554-50-8			
419	1-1)HK	511-54-2-2-5			
420	1-1)HK	530-50-9			
421	1-1)HK	HKS-5-54-2-5			
422	1-1)HK	HKS-4-50-3-5			
423	1-1)HK	HKS-3-54-8			
424	1-1)HK	HKS-3-53(2)-5 54.3			
425	1-1)HK	HKS-2-53-2(5)- 5			
426	1-1)HK	HKS-5-54-8			
427	1-1)HK	HKS-5-54-2-5			
428	1-1)HK	HKS-5-51(3)-5			
429	1-1)HK	HKS-5-51(4)-5			
430	1-1)HK	513-54-2-2-5			
431	1-1)HK	HKS-7-54-2-5			
432	1-1)HK	HKS-6-42-2-5			
433	1-1)HK	HKS-6-48			
434	1-1)HK	HKS-5-41-5			
435	1-1)HK	HKS-4-42-2-5			
436	1-1)HK	HKS-4-42-2-5			
437	1-1)HK	HKS-4-41-5			
438	1-1)HK	HKS-4-41-5			
439	1-1)HK	HKS-4-41-5			
440	1-1)HK	HKS-4-41-5			
441	1-1)HK	HKS-4-41-5			
442	1-1)HK	HKS-4-41-5			
443	1-1)HK	HKS-4-41-5			
444	1-1)HK	HKS-4-41-5			
445	1-1)HK	HKS-4-41-5			
446	1-1)HK	HKS-4-41-5			
447	1-1)HK	HKS-4-41-5			
448	1-1)HK	HKS-4-41-5			
449	1-1)HK	HKS-4-41-5			
450	1-1)HK	HKS-4-41-5			
451	1-1)HK	HKS-4-41-5			
452	1-1)HK	HKS-4-41-5			
453	1-1)HK	HKS-4-41-5			
454	1-1)HK	HKS-4-41-5			
455	1-1)HK	HKS-4-41-5			
456	1-1)HK	HKS-4-41-5			
457	1-1)HK	HKS-4-41-5			
458	1-1)HK	HKS-4-41-5			
459	1-1)HK	HKS-4-41-5			
460	1-1)HK	HKS-4-41-5			
461	1-1)HK	HKS-4-41-5			
462	1-1)HK	HKS-4-41-5			
463	1-1)HK	HKS-4-41-5			
464	1-1)HK	HKS-4-41-5			
465	1-1)HK	HKS-4-41-5			
466	1-1)HK	HKS-4-41-5			
467	1-1)HK	HKS-4-41-5			
468	1-1)HK	HKS-4-41-5			
469	1-1)HK	HKS-4-41-5			
470	1-1)HK	HKS-4-41-5			
471	1-1)HK	HKS-4-41-5			
472	1-1)HK	HKS-4-41-5			
473	1-1)HK	HKS-4-41-5			
474	1-1)HK	HKS-4-41-5			
475	1-1)HK	HKS-4-41-5			
476	1-1)HK	HKS-4-41-5			
477	1-1)HK	HKS-4-41-5			
478	1-1)HK	HKS-4-41-5			
479	1-1)HK	HKS-4-41-5			
480	1-1)HK	HKS-4-41-5			
481	1-1)HK	HKS-4-41-5			
482	1-1)HK	HKS-4-41-5			
483	1-1)HK	HKS-4-41-5			
484	1-1)HK	HKS-4-41-5			
485	1-1)HK	HKS-4-41-5			
486	1-1)HK	HKS-4-41-5			
487	1-1)HK	HKS-4-41-5			
488	1-1)HK	HKS-4-41-5			
489	1-1)HK	HKS-4-41-5			
490	1-1)HK	HKS-4-41-5			
491	1-1)HK	HKS-4-41-5			
492	1-1)HK	HKS-4-41-5			
493	1-1)HK	HKS-4-41-5			
494	1-1)HK	HKS-4-41-5			
495	1-1)HK	HKS-4-41-5			
496	1-1)HK	HKS-4-41-5			
497	1-1)HK	HKS-4-41-5			
498	1-1)HK	HKS-4-41-5			
499	1-1)HK	HKS-4-41-5			
500	1-1)HK	HKS-4-41-5			
501	1-1)HK	HKS-4-41-5			

歌名	調性	拍子	編曲者	録音年	録音所	収録時間	収録形式	備考
502	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-52.4(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
503	3-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-53.6(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
504	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-54.9(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
505	3-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-55.1(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
506	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-56.4(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
507	2-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-57.7(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
508	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-58.9(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
509	3-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-60.2(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
510	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-61.4(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
511	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-62.7(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
512	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-63.9(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
513	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-65.2(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
514	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-66.4(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
515	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-67.7(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
516	3-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-68.9(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
517	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-70.2(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
518	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-71.4(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
519	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-72.7(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
520	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-73.9(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
521	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-75.2(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
522	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-76.4(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
523	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-77.7(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
524	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-78.9(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
525	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-80.2(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
526	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-81.4(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
527	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-82.7(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
528	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-83.9(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510
529	1-1-14K	4/4	HMK1-510	1950.02-4.33	1-85.2(187)	34.5	HMK1-510	HMK1-510

番号	学名	科名	属名	種名	標本(日付)	採集地	標本(日付)	採集地	備考
530	1-E	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
531	2-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
532	3-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
533	4-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
534	5-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
535	6-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
536	7-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
537	8-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
538	9-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
539	10-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
540	11-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
541	12-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
542	13-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
543	14-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
544	15-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
545	16-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
546	17-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
547	18-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
548	19-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
549	20-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
550	21-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
551	22-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
552	23-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
553	24-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
554	25-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
555	26-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
556	27-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
557	28-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
558	29-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
559	30-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
560	31-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
561	32-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	
562	33-バラ	バラ科	バラ属	バラ	1943.5.24	山形県	1943.5.24	山形県	

書名・著者	時代・地域	紙種(寸)	紙質(色)	紙質(寸)	書名	巻数	枚数	表紙	裏紙	背紙	特記事項等
597	17M	横線(1)	横線(2)	横線(3)	紙(1)か						
598	17M	横線(1)	横線(2)	横線(3)	紙(1)か						
599	17M	横線(1)	横線(2)	横線(3)	紙(1)か						
600	17M	横線(1)	横線(2)	横線(3)	紙(1)か						

表2

書名・著者	時代・地域	紙種(寸)	紙質(色)	紙質(寸)	書名	巻数	枚数	表紙	裏紙	背紙	特記事項等
201	17-18M	横線(1)	横線(2)	横線(3)	紙(1)か						
206	M										
222	17-18M										
223	17-18M										
228	M										
231	17-18M										
235	17M										
239	17-18M										
243	17M										
245	17-18M										
246	17M										
247	17M										
250	17-18M										
254	17-18M										
255	17-18M										